

キャラクター名	プレイヤー名
雪城 陽鐘 (ゆきしろ あきね)	

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	UGN	エージェントD	カヴァー	忍者…?
	エンジェルハイロウ					
オプション		年齢	26	性別	女	
覚醒	償い	衝動	恐怖	初期侵食率	40	%
出自	名家の生まれ	経験	危険な仕事	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	20
感覚	6	0	0	3		9	(非装備時)	20
精神	2	0	0			2	戦闘移動	25
社会	0	1	0			1	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	4		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
恩光受領	射撃	9r				光の銃生成
残光屈折	射撃	9r				陽炎→死神+ピノ+ト+アタ+コバト+指先

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
【光使い】	P	N			
雪城 琥陽 (ゆきしろ こはる)	P 執着	N 悔悟			
深山 凜都	P 友情	N 不安			
星宮 美沙	P 尽力	N 憐憫			
黒崎 ゆう	P 感服	N 不安			
三智方 遥大	P 尊敬	N 劣等感			
犬飼 猫	P 幸福感	N 憐憫			
最大財産P:	4	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
光の銃	5	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 技能:《射撃》 命中:0 攻撃力:[LV+2] 射程:視界の射撃武器を作成。								
見えざる死神	5	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 隠密状態時、使用可能。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+1個し、その攻撃の攻撃力を+[LV×3]する。								
デスストーカー	7		常時				リミット	
効果: 隠密状態時攻撃力+[LV×4] 基本侵蝕+5								
陽炎の衣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 隠密状態になる。メインプロセスが終了するまで持続する。このエフェクトは1シーンにLV回使用できる。敵とエンゲージしていても、この効果で隠密状態になれる。								
ピンポイントレーザー	7	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃では、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。ただし、その攻撃の攻撃力を-[5-LV](最大0)すること。								
アフターエフェクト	5	3	Xジャー	-	単体	対決	リミット	
効果: 1点でもダメージを与えた際、そのラウンドの間の対象が受けるダメージを+[Lv×3]する。								
コンセントレイトエンジェルハイロウ	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: いつもの								
光の指先	4	2	Xジャー/リアクション	-	-	-	DIIS	
効果: 組み合わせた判定のダイスを+[LV+2]個する。								
レーザーファン	3	3	Xジャー		範囲(選択)	対決		
効果: 範囲選択に変更 シナリオLV回								
幻影の騎士団	5	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: ラウンド間: 攻撃力+[LV×3] ただし、1点でもダメージを受けると終了								
イエーガーマイスター	5	4	Xジャー	-	単体	対決	80%	
効果: 攻撃力+LV*4 B:ドッジダイス-3個								
死点撃ち	5	3	Xジャー	武器	単体	対決	-	
効果: 装甲無視エフェクトと組み合わせた攻撃の攻撃力+[Lv*3]								
ウサギの耳	1							
効果: 耳めっちゃいい								

#00CCFF  
雪城家は江戸末期から続く名族で、陽鐘はその家に生まれた双子の妹。

「目覚めた経緯」  
双子の兄と家の近くの裏山で遊んでいた際にカラスのような(陽鐘自体恐怖で容姿がくっきりと思いつけない)ジャームに襲われる。その際、陽鐘を庇った兄から出た血がフクロウの形を成して(ブラムの従者)なんとかそのジャームから逃げ切ることができた。(兄はその際にオーヴァード化)

その後、下記(カバー)のこともあって訓練しているときに「守るのは自分だったはずなのに、逆に守られた拳怪我をさせてしまった」という後悔と、「今度は自分が兄を守らなければいけない」という使命感からオーヴァードに目覚める。

「カバーの説明について」  
雪城の本家がある地域では双子が生まれたときは上の子供が陽、下の子供が影として生きるしきたりがあった。陽が次期当主、影がその次期当主を支える役目を持つ。影が支える方法としては大きくわけて2つあり、1つが「頭の良さを生かして支える秘書・参謀」、そしてもうひとつが「当主を襲う災い(暗殺とか裏切りとか)を最小限の被害で抑えるボディガード」。

陽鐘は特別頭がよかったというわけでもないで後者を選び、オーヴァードに目覚める前からその役割を果たすために日々訓練を行っていた。

なお次期当主である兄は陽鐘がこんなことをしてるなんて一切知らない、爺様たちに知らせないようにと釘刺されてるのもそうだし陽鐘自身も教えたいとは思っていない。(バシたら妹になにさせとんじゃボケって一族全員殺しかねないため)

